

令和
7年度一般会計補正予算審査
特別委員会

6月13日

委員長
田村 計久

※一般会計補正予算審査特別委員会は、年度途中の行政需要に対応するため、予算の追加や変更を審査する委員会です。

歳入歳出それぞれ7,723万3千円追加 総額94億1,819万7千円

収入の主な内訳 (歳入)	国庫支出金	道路関連の実証実験事業……………1,405万円 子育て施設利用給付交付金……………33万3千円
	寄付金	企業版ふるさと納税（アサヒビール）……………1,000万円
	繰入金	企業版ふるさと納税基金繰入金……………800万円
	繰越金	歳入歳出差額分……………4,269万3千円
支出の主な内訳 (歳出)	総務費	基金管理費（企業版ふるさと納税積立金）……………1,000万円 企画振興費（湯沢温泉線社会実験）……………1,350万円 賦課費……………3,333万3千円
	農林水産費	水産業振興費（湯沢フィッシングパーク仮施設設置）215万円
	商工費	観光費（観光まちづくり機構運営支援補助金）…800万円
	教育費	公民館費（管理費増）……………102万4千円

説明要旨

補助金を活用した社会実験事業や定額減税補正給付金事業にかかる予算が計上された。

主な質疑

- Q** 企業版ふるさと納税の事業内容と単年事業か長期事業か。
- A** アサヒビール提唱の「スマドリ」文化を活かし、湯沢町の飲み歩きイベントを支援する事業を実施する。越後湯沢駅開業100周年記念事業などと連携し、スマドリ普及・閑散期対策・温泉街活性化を3年間の計画で展開する。
- Q** スマートドリンクの具体的な事業内容は。
- A** 秋に飲食店や宿泊施設と連携して、飲み歩きチケットや回遊ツアーを企画する。越後湯沢駅開業100周年イベントと連動し、観光回遊の促進と地域活性化を図る取り組みを進める。
- Q** スマートドリンクについて条例を制定し、長期的に取り組む考えはあるか。
- A** 福祉課のファミリー健康プランと連携してスマドリを推進し、事業の盛り上がりを見ながら条例制定の検討を進める。
- Q** 湯沢温泉線社会実験の内容は。
- A** 温泉線の一部を歩行者天国とする構想であり、飲食店や宿泊施設など関係者による協議会を設けて2年間の社会実験を実施する。
- Q** サテライトオフィスの国補助金返還の理由は。
- A** 元中央保育所（契約者…きら星）に設置されたテレワーク施設で、利用がなかったため又貸しが行われ、会計検査により目的外利用と判断されたため。
- Q** 町施設であるサテライトオフィスの又貸しについて、町の考えは。
- A** 契約者が町へ申請し、使用内容が適切と判断されれば担当課が許可している。
- Q** フィッシングパーク倒壊建物の撤去状況は。
- A** 倒壊した建物は全て撤去が完了した。
- Q** フィッシングパーク仮設場所および再建の検討は。
- A** 本体中央部の下流側に仮設テントを設置し、再建は本年度中に行う予定である。
- Q** 健康増進施設管理費の清掃増について。
- A** 健康増進施設の清掃作業における人件費高騰が要因である。